

令和6年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和6年11月17日（日）14時～16時15分
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 市民28名
- 出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長、
山本環境経済部長、篠崎建設部長、中場都市部長、担当課長等16名

市民：私は、子どもたちに絵本の読み聞かせを行っています。質問というよりはお願いです。以前、市長様に市民図書館湖北台分館の利用について、要望書を提出いたしましたので、読み上げさせていただきます。

（以下、一部省略）

私達「東小読み聞かせ隊」は、湖北台東小学校の子どもたちに絵本の読み聞かせを行っているグループです。メンバーは在校生・卒業生の保護者、地域ボランティアで構成しております。読み聞かせは水曜日の授業開始前に実施しており、短時間ながら楽しみにしてくれる子どもたちも多く、メンバーにとりましても心和むひとときです。読み聞かせに使用する絵本は、対象となる学年を踏まえ、各々が本を手にとって吟味・選定して読み聞かせにのぞんでいます。多くは「市民図書館湖北台分館」に頼る部分が多く、ありがたく活用してまいりました。ところが現在、予約図書の貸し出し・返却・予約といった窓口業務のみを扱う同館では、書架をめぐる通常の閲覧ができない状況です。移動図書館そよかぜ号の巡回は、湖北台分館には土曜日13：30～15：30の2時間、湖北台東小には月1～2回の9：20～10：00の40分間となっており、指定日時に都合が付かないことも多々ございます。そのようなわけで、今春より読み聞かせの準備に不便を余儀なくされております。私達以外にも、以前(本年3月まで)のような方法で湖北台分館を利用されたい方はたくさんいらっしゃるかと存じます。誰もが自家用車を運転したり交通機関を利用できるとも限らず、市内他館(本館・布佐分館)へ自分だけで行くのが難しい子どもやお年寄りも多数です。自転車で行く場合、距離や主要道路の交通量を考えると容易な道のりではありません。

もとより市内他館は湖北住民が散歩がてら気軽に立ち寄るような利用がしづらい

距離にあり、憩える図書館の不在は、本離れにつながるとも考えられます。「北の鎌倉」として知られるまちでありながら誠に残念なことです。市の HP によりますと今年度(令和 6 年度)から、湖北台地区第 2 期整備として湖北台分館の場所や機能について検討されるとのことで、その際、ぜひとも下記の点を汲んでいただきたく、お願い申し上げます。1 つ目は、利用方法変更前(本年 3 月まで)と同等の機能を要望いたします。市内他館と同様の設備(貸し出しカウンター、閲覧できる書架・机や椅子、子どものスペース、検索スペース、トイレ等)を設置していただき、開館時間・曜日も以前と同様に戻していただきたいです。2 つ目は、子どもやお年寄りなど、市内他館へ行くのが容易でない方々のためにも、できるだけお早めに適切なお対応を要望いたします。このようなお手紙を出させていただきました。今、市長さんからお話があった、湖北小の体育館や消防署の移転など、いろいろとお金がかかることがおるかと思いますが、居場所づくりを第一に湖北台図書館を整備していただけるようお願いいたします。

市長：ありがとうございます。湖北台の図書館については、当時から老朽化した公共施設をどうするかという課題があって、図書館や行政サービスセンター、市民センターと地区社協の事務所など、7 年～8 年住民の皆さんと議論を重ねてきた経緯があります。結果的に、今の場所のままでいい、移動しなくていいという結論になりました。そして、2 期工事の中で検討しましょうということになったと理解しております。

場所についても、いろいろと検討しました。西小学校の空き教室は使えないか。本というのはとても重いのですね。湖北台浄水場の二階ですから、湖北台浄水場の施設自体もかなり古いです。西小も古いです。今の消防署が移転した跡地という案や西小学校の敷地内という案などありますが、いずれにしても地域の皆さんの意見を聞きながら、教育委員会と協議を進めていきたいと考えております。造らないということではありませんから。住民の方や自治会、まちづくり協議会など、様々な団体の方々を含めて意見交換をさせていただきたいと思っております。

市民：島原自治会の者です。我孫子市は白樺派の文人も住んだ文化のまちなのに、

図書館がないのはどうなのか。先程、市長が湖北台西小学校は老朽化しており、図書館としてはだめだと言っておられたが、東小学校ではどうなのですか。また、現在消防署の敷地内に倉庫を置かしてもらっていますが、移転になったらどうなるのか。東小学校の空いているところに置けないのか。もしくは、東小の東の崖下にいくつか防災倉庫がありますが、そこは学校敷地ではないのか。

市長：西小学校にというのは、図書館の隣にあり、場所として近いということだと思います。東小の方が校舎自体はかなり新しいですね。ただ、当時の議論として西側か東側かということだと、東小は中里に近くかなり東側寄りとなるので、意見がまとまるかどうかです。また、東小の崖地の場所もよく承知しています。子どもの頃の遊び場でしたから。現在の消防署の敷地内に各自治会の防災倉庫があることも承知しております。ただ、期間は後 2 年ありますので、移転が終わるまでに決めればよいと思います。それまでに情報を提供していきますので、よろしくお願いします。

市民安全課長：東小の東側の崖下の用地も学校用地となっています。おそらく、各自治会で行政財産使用許可を取り、防災倉庫を置いているものと思います。

市長：校舎の建っている敷地内は教育財産でしょうから、そこに自治会の防災倉庫を置くことは、かなり難しいと思います。教育財産と行政財産は違いますので。

市民：湖北台中央公園のトイレですが、落書きの件と和式から洋式に変えてほしいという意見があります。あと、市民協働推進課から市民活動の助成金が出ているが、自治会に入っている世帯だけしかいただけない。入っていない方の分も同じようにチラシやお知らせの回覧をしています。せめて、世帯数に見合った分の助成金をいただけないでしょうか。

都市部長：中央公園のトイレの老朽化と落書きについては、認識しております。また、男子トイレだと思いますが、和式から洋式トイレへという要望についてですが、公園も

市全体で 200 か所以上あり、草刈りや樹木剪定、遊具の修繕など年間で相当の費用がかかっています。ここだけすぐにできるかは、厳しいです。

市民生活部長：自治会への助成金ですが、会員でない世帯も含めるのは難しいと考えております。自治会に入っていない世帯も増えていることから、市としても入ってもらえるような取り組み、PR をしていきたいと考えています。

市長：公園のトイレの洋式化ですが、中には便座に座りたくないという方もいて、全て洋式にしてほしくないというところもあります。そういう声もあるということはお伝えさせていただきます。清掃を行うのも和式の方が簡単です。また、自治会への加入ですが、任意加入なので強制的にといいわけにはいきません。同じように、PTA も任意加入なので、最近様々な問題も出てきています。

市民：最初に市長にお礼を申し上げたい。以前お願いした中央公園入口の出入りに支障となっていた木の根を伐根していただき感謝しております。また、私は平成 18 年から子供の見守り隊をしています。84 歳になりますが、妻も認知症ぎみで、施設に入ることになりましたので、そろそろ活動を中止したいと思っています。東小の正門と坂の下に車止めのカラーコーンを持っていくのですが、少し距離があり、引き上げが出来なくなりました。高齢化が進み将来的にボランティアによる見守りが出来なくなるのではと心配しています。

市長：ありがとうございます。公園は 200 か所以上あり、全箇所職員が見回るのは限界があります。地域の皆様から情報提供いただければありがたいです。また、見守り隊ですが、高齢化は避けられない問題です。各学校によりシルバー人材センターに委託したりして継続しているようです。若い方たちも共働きの世帯が増えてきていますから、現役を退いた方をお願いしておりますが、まだまだボランティアに頼らざるを得ない状況です。ただ、湖北地区には割と元気な高齢者の方が多いですから、子供たちのためにこれからもよろしく願いいたします。

それと、今回の湖北小の体育館の件ですが、湖北地区の皆さんから子供たちのために、早く建て直してほしいので寄付をしたいが、窓口はないのかという声をたくさんいただきましたので、今回寄付の受入先である基金のお知らせをしたということです。市の方から寄付の要請をお願いしたわけではなく、そういった声に応えるためにお知らせをしたということですので、ご理解いただければと思います。

市民：補聴器の会ですが、キャラバンの時に我孫子市には、どのくらい難聴者の方がおられるのか教えてほしいと聞きました。回答はまだなのですが、その後、お電話でお話を聞いたところ、調査中です。その後、回答はいたしますと言われました。私どもは、難聴者の実態をつかんでほしいということで、補聴器購入の際の補助金を流山市が実行していたということを聞きましたので、キャラバンでは65才以上の方が対象の厚労省から行われている生活調査という3年に1回、介護保険が変わることによって、調査があることを伺いました。実際にそれはどういうものか、キャラバンで質問しましたがその会議が終わってから、個人的に高齢者支援課さんにお電話させていただきました。そうしましたら、「その生活調査をやっています。」と回答をいただいたので、安堵しました。キャラバンの会議の中で生活調査の中に難聴者の調査もいれてもらえませんかと言いましたら、その際は回答がなかったので、後から電話をしました。そうしましたら、難聴者のことはいれられません。なぜかというと認知症のことを調べている、とても項目が多くて回収率が下がるので、これ以上項目を増やすことは、出来ませんと言われました。回収率が悪いから実態をつかまないとかなと思いました。是非とも、お金はそんなにかかりませんので、生活調査の中に我孫子市としての難聴者がどれくらいいるのか、把握していただくとうりがないということで、項目を入れていただくよう、お願いいたします。

市長：介護保険制度がスタートしてから、3年に1度介護保険制度を見直します。その時にニーズ調査を行っていることは承知しています。体の状況に応じて、施設系のサービスが必要か、訪問系のサービスで対応できるのか、というのを含めながら、次の3年間につなげていきます。老年になれば体への不具合が出てくることは、承知して

おります。私も市長になる前は、認定審査員をやっていたから、我孫子は、国が介護保険制度を始める1年前から、モデル事業として携わってきました。その時に、はじめて我孫子方式を採用して、今それが全国当たり前になっているということです。年を取ったから、耳が聞こえにくい、年をとったから、見えづらくなったというのと、病気のせいで耳が聞こえなくなったというものは、別物だと思っています。でないと、年を取ったら補聴器、老眼鏡、入れ歯も必要ですし、というふうの一つを認めてしまうと限度が無くなってしまいます。どこに対応していくかということは、これからも検討することが必要になってきます。我孫子の場合は、病気によって、難聴になった方は、補助の対象になっています。個人的に、聞こえづらいという方は、対象となっておりません。こういった線引きをどうするかということで、医師会ともお話をしして取り組みをさせていただいているところです。いろんなご意見があることを取り入れて、調整させていただこうと思っております。恐らく、回答にはなっていないと思っておりますが、これからも医師会とも相談させていただきながら、進めていきたいと思っております。

市 民：半年ほど前から気になることは、毎日のように地震があることです。手賀沼ふれあいライン沿いに家があるので、大型車が通るたびに揺れます。置き場は確保しますので、振動を測定する機械を置いていただけないでしょうか。

環境経済部長：振動を測る機器はあると思っておりますので、設置が可能か検討いたします。今日は担当も来ておりますので、担当からお答えいたします。

生活衛生課長：手賀沼ふれあいライン沿いでは、現在はアビスタの前で騒音振動の定点観測を実施していますが、後ほどお住いの場所と状況を教えてください。

市 民：子どもが不登校ぎみになったことで相談に行ったら、市民活動ステーションでいろいろと助けてくれる人がいることが分かりました。図書館の件でも、今お話を聞くと西小にできないかとか様々な経緯があったことが分かり、少し安心しました。今、子供の関係で竹灯籠のイベントをやっています。これからもご協力よろしくお願

します。

市 長：私自身もかつて学校医をやっていたのでよく分かります。今、学校に行くと、子供たちに笑顔が少ない学校はちょっと問題があるのかなと思いますし、私に元気よくこんにちはと声をかけてくる子がいる学校は特に心配がないと思っています。勉強に限らず、何でもいいので興味があるものが何かあればいいのかなと思います。学校の勉強だけが全てではないということを知ってほしいです。

市 民：30年位公園のボランティア活動をしてきたが、最近犬のフンが目立ちます。犬を連れている方に注意をした時に、胸ぐらをつかまれたこともありました。公園に動物を入れないよう条例で規制できないでしょうか。また、最近、凶悪な強盗犯罪が問題になっているが、各家に防犯カメラ設置の補助が出来ないでしょうか。

都市部長：公園内の動物のフンについてですが、本来は飼い主のモラルの問題ですが、そのことについては、検討させていただきます。

市 長：防犯カメラの補助は、個人を対象としていません。自治会対象なので、自治会内でよく話をしてみてください。ただ、設置場所については、警察と協議になることをご理解ください。また、詐欺などを未然に防ぐためにも、知らない人や知らない業者の人を家の中に入れてないようにしてください。

市 民：能登半島地震で上下水道の復旧が問題となりました。我孫子市内で大地震対応の上下水道管を完備しているのはどのくらいあるのでしょうか。また、我孫子に越えてきて毎年ウグイスの鳴き声でしたが、最近聞かなくなりました。4号公園で木の伐採が進んでいるせいではないでしょうか。その分植林をしてもらえないか。

都市部長：ここ数年松枯れやナラ枯れが発生しており、まだ収まっておりません。ある程度収まるまでは伐採はやむを得ないので、ご理解ください。

市長：報道であったという重要施設の上下水道管の完備率の調査について、具体的な数値は把握していません。ただ、古い水道管があるのは事実で、今水道局では地震に強い管に変えているところです。水道事業は公営企業なので、法律で税金を投入することが禁止されています。利用者の皆様からいただいた料金収入で賄わざるを得ないので、どうしても費用と時間がかかるのをご理解していただきたいと思います。

市民：外国人対応に資源ごみの袋に英語で表記できないでしょうか。また、資料にある消防署の移転に伴う大型車両通行ルートですが、ふれあいラインからけやき通りを通るルートは交通量も多いし、時間帯によっては通学路で危険ではないか。東小の南から入るルートの方が距離的にも近いし安全ではないか。あと、消防団 13 分団の小屋ですが、崩れそうです。なんとか早くお願いします。

市長：消防団の小屋については、認識していますので、対応したいと思います。また、資源ごみの袋ですが、もう少し早く言ってもらえたら間に合ったかもしれないですが、すでに作成済みです。ただ、作成した袋に上から文字が入れるかどうか検討するよう指示をしています。

消防総務課長補佐：ご質問のルートの件ですが、メインとしては 356 号線の湖北台団地から入るルートです。他に手賀沼ふれあいライン沿いからのルートも考えているとのこと。いずれも通学路はありますが、危険防止のため、搬入は通勤通学の時間帯を外すよう指示しております。